

令和3年12月13日

一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構

理事長 宇都宮 一典 様

認定特定非営利活動法人日本 IDDM ネットワーク

理事長 井上 龍夫

日本糖尿病療養指導士（CDEJ）認定更新のための研修会の不認定について（質問）

今般、当法人申請の「カーボカウント & 先進デバイス活用 WEB セミナー（第1回初心者向け、第2回経験者向け、第3回女性限定）」について、12月2日付けで不認定の通知が参りました。そこで12月9日に当法人職員が電話で貴機構にお尋ねしたところ文書での提出を求められました。

ついては、準備の都合上、下記事項について12月24日（金曜）までに回答をお願い申し上げます。

## 記

### 1. 不認定の理由について

(1) 不認定の通知理由に記載された「認定基準②に抵触するため」とは、「日本糖尿病療養指導士の医療職種の1つあるいは複数をおもな対象とするもの」の解釈の問題だと思いますが、今年と同様な当該セミナー実績では52名の医療者が出席され、糖尿病専門医が講師を務め、普段ほとんど聞くことができない患者・家族の本音に接することで非常に有意義である旨の反応が多く寄せられています。認定基準②を形式的に適用することは、CDEJの本来の目的達成に逆行するものと考えます。

(2) これまでの開催分は認定されていたにもかかわらず、今回は不認定とされた理由をご説明ください。

### 2. 日本糖尿病療養指導士（CDEJ）認定が妥当と判断する理由

貴機構のWEBには、患者の高齢化及び生活習慣や病態の多様化に伴い療育指導には患者の属性を踏まえた個別化が求められていること、真の個別化を実践するためには質の高い医療技術はもとより個々の患者のニーズを把握する確かな見識とそれに基づく多職種の有機的な連携が必要であること、多彩な社会の要請に応えるべくCDEJがキャリアを積むプロセスを支援するとあります。

今般、当法人が申請したセミナーはこれまで糖尿病専門医をはじめ多職種の医療者に加えて、当事者である患者・家族と一緒に参加しており、日本糖尿病療養指導士（CDEJ）の本来の目的に合致すると考えております。